

柏市産業振興会議

**統計データに基づく
市内における産業構造
(中間報告)**

国が提供する「地域経済分析システム（RESAS（リーサス））」等を活用し、以下の事項について、全国や製造業が強い地域との比較等より、柏市の産業構造の分析を行い、特性、強み・弱み等を把握する。

①市内で稼いでいる産業

- ・ 製造品出荷額等のシェア
- ・ 付加価値額、労働生産性 など

②市内経済の循環の高い産業

- ・ 新たな需要による市内経済への波及が高い産業 など

③市内経済を支える産業

- ・ 市外取引の多い産業、市内取引の多い産業

第1回
会議

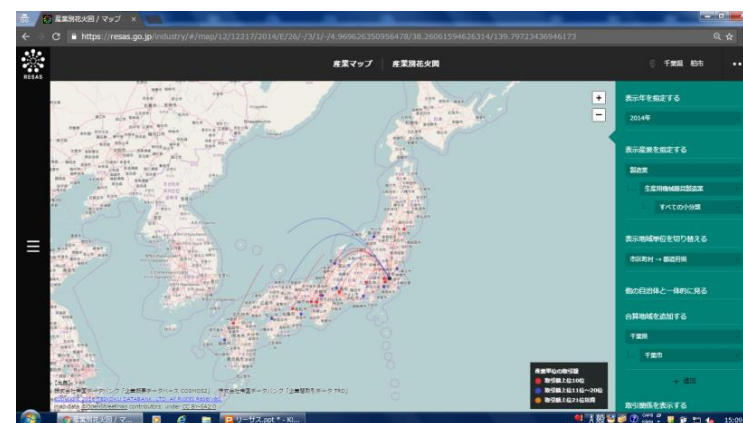
(本日)

第2回
会議

【地域経済分析システム（RESAS（リーサス））について】

- ・ 自治体が客観的なデータにもとづき、自らの地域の現状と課題を把握し、戦略策定等の基礎資料として活用すること等を目的に、経済産業省が開発した「ビッグデータを活用した地域経済の見える化システム」
- ・ 経済・産業分野を中心に、国の統計調査、民間による調査等様々なデータが搭載され、誰でもインターネット上で活用することができる（一部、自治体限定の分析メニューあり）

▼RESAS画面



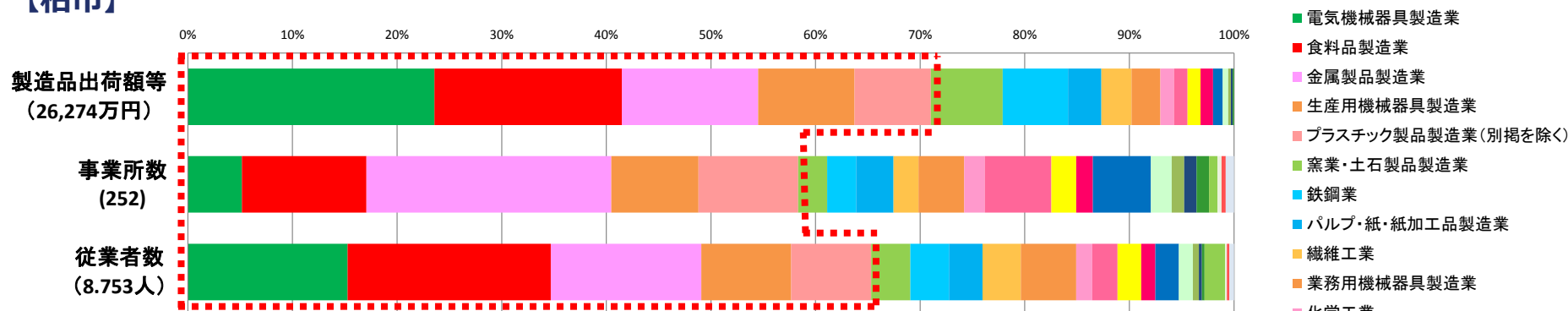
2. 柏市製造業の稼ぐ力①：全国比較

① 製造品出荷額、事業所数、従業者数の製造業分野別シェア

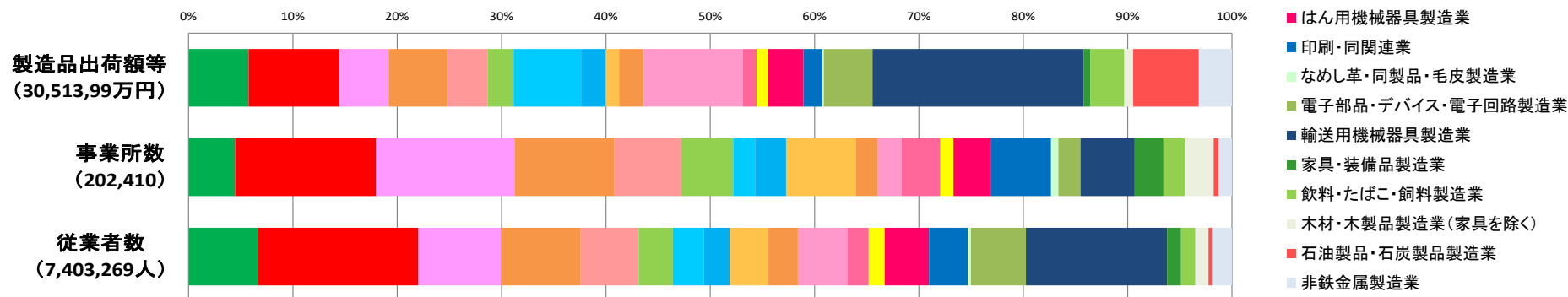
- ・市内製造業では、電気機械器具、食料品、金属製品、生産用機械器具、プラスチック製品の5分野のシェアが多く、全国との比較を見てもシェアが高い状況にある
- ・市内における上記5分野のシェアは、製造品出荷額で全体の**71%**、事業所数で全体の**59%**、従業者数で全体の**65%**を占めている

[製造品出荷額、事業所数、従業者数の製造業分野別シェア（H26）]

【柏市】



【全国】



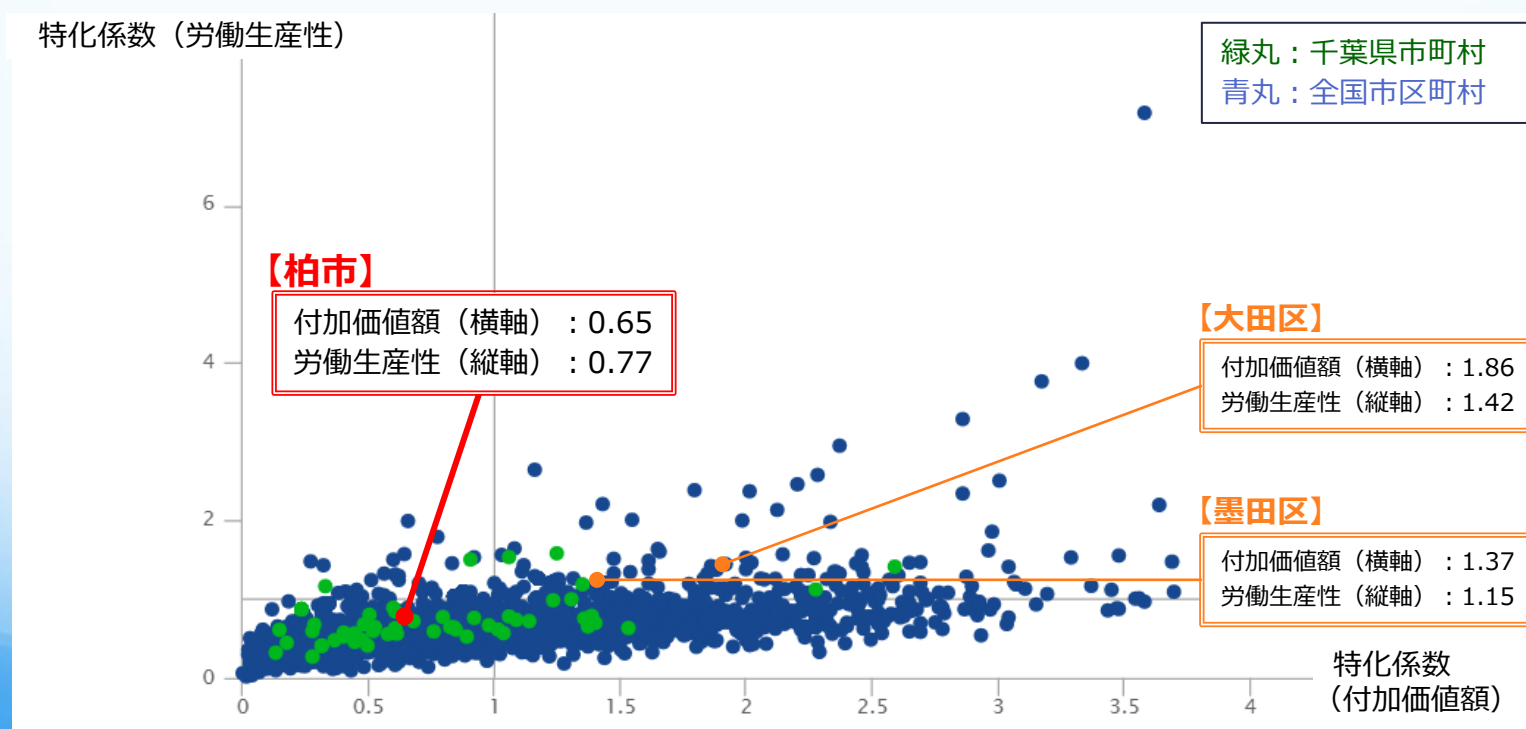
2. 柏市製造業の稼ぐ力②：全国比較

② 柏市製造業の稼ぐ力・効率性の全国との比較（付加価値額、労働生産性の特化係数）

- ・ 柏市の製造業の稼ぐ力、効率性を全国の市区町村と比較した結果をみると（付加価値額、労働生産性の特化係数）、いずれも全国水準を下回る結果となっている（付加価値額の特化係数：**0.65**、労働生産性の特化係数：**0.77**）
- ・ 近隣でものづくり産業が盛んな東京都大田区、墨田区と比較しても、製造業の稼ぐ力、効率性ともに差が見られる状況にある

⇒特に製造業の稼ぐ力、効率性の高い大田区では、中小企業でのIoTの利活用等を全国に先駆け推進

[柏市製造業の付加価値額、労働生産性の特化係数の全国との比較（H24）]

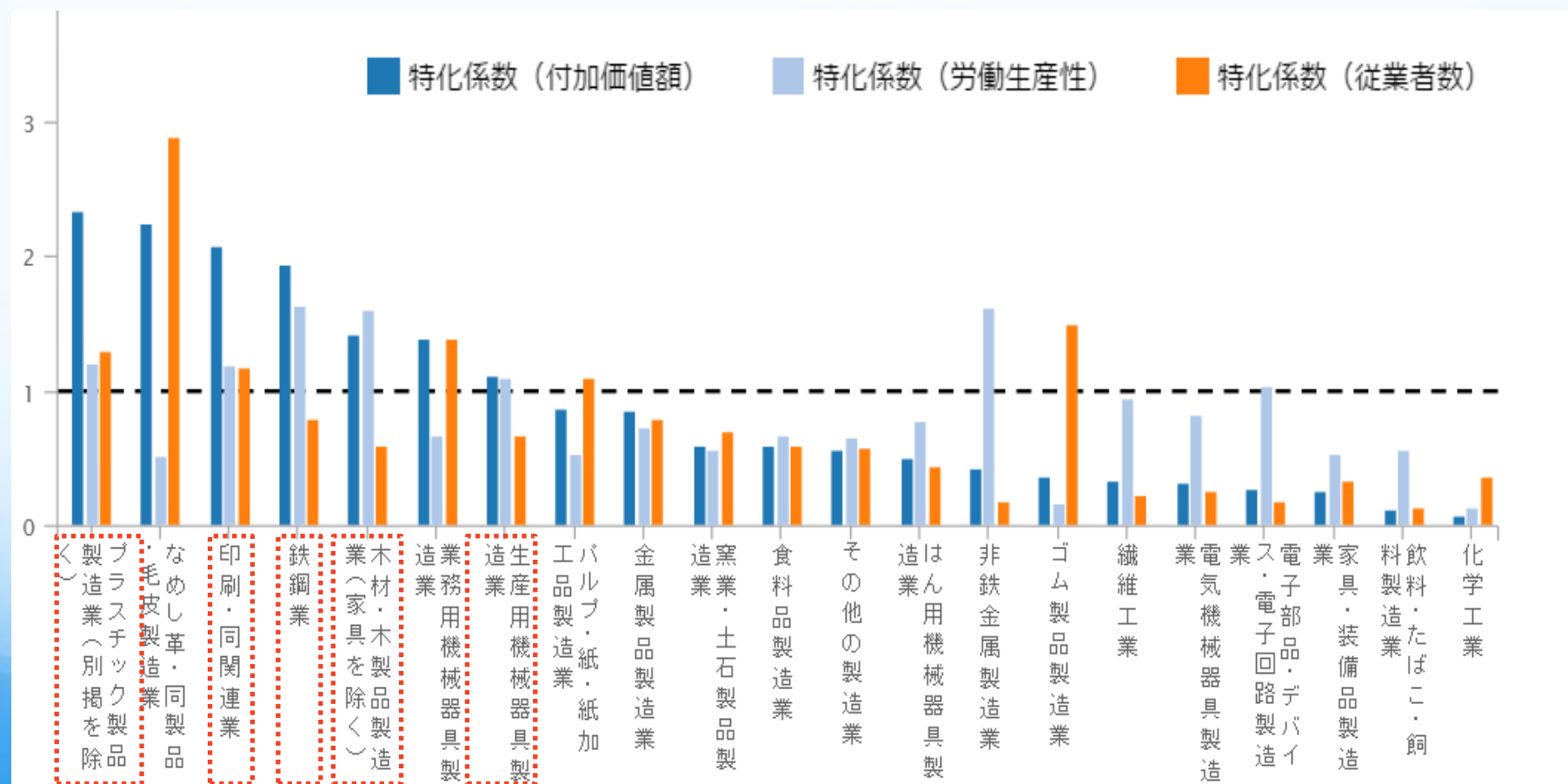


2. 柏市製造業の稼ぐ力④：全国比較

③ 柏市製造業分野別の稼ぐ力・効率性の比較（付加価値額、労働生産性の特化係数）

- ・ 柏市の製造業分野のうち、「プラスチック製品」「印刷関連」「鉄鋼業」「木材・木製品」「生産用機械器具」の5つは、稼ぐ力・効率性ともに全国水準を上回っている（付加価値額、労働生産性の特化係数がともに1以上）

〔柏市製造業分野別の付加価値額、労働生産性の特化係数（H24）〕



[参考]

■ 付加価値額の特化係数について

- ・ 付加価値額は、売上高から原材料費等を引いたもので、経営向上の程度を示す指標のひとつ
- ・ 製造業の付加価値額の特化係数は「市区町村の製造業の付加価値額の全産業に占めるシェア」を「全国の製造業の付加価値額の全産業に占めるシェア」で割ったもの
- ・ 製造業の付加価値額の特化係数が1を上回る場合は、当該市区町村における製造業の付加価値額の全産業に占めるシェアが全国平均と比べて高いことを意味しており、1を下回る場合は、当該市区町村における製造業の付加価値額の全産業に占めるシェアが全国平均と比べて低いことを意味している

■ 労働生産性の特化係数について

- ・ 労働生産性は、付加価値額を従業員数で割ったもので、従業員一人あたりどれだけ稼ぎを生み出しているかの尺度のひとつ。少ない従業員数で付加価値を生み出している場合、労働生産性は高くなる
- ・ 製造業の労働生産性の特化係数は、「市区町村の製造業の労働生産性」を「全国の製造業の労働生産性」で割ったもの
- ・ 製造業の労働生産性の特化係数が1を上回る場合は、当該市区町村における製造業の労働生産性が全国平均と比較して高い（全国平均と比較し少ない従業員数で付加価値を生み出している）ことを意味しており、1を下回る場合は、当該市区町村における製造業の労働生産性が全国平均と比較して低い（全国平均と比較し付加価値を生み出すための従業員ひとりあたりの効率が悪い）ことを意味している

■ 従業者数の特化係数について

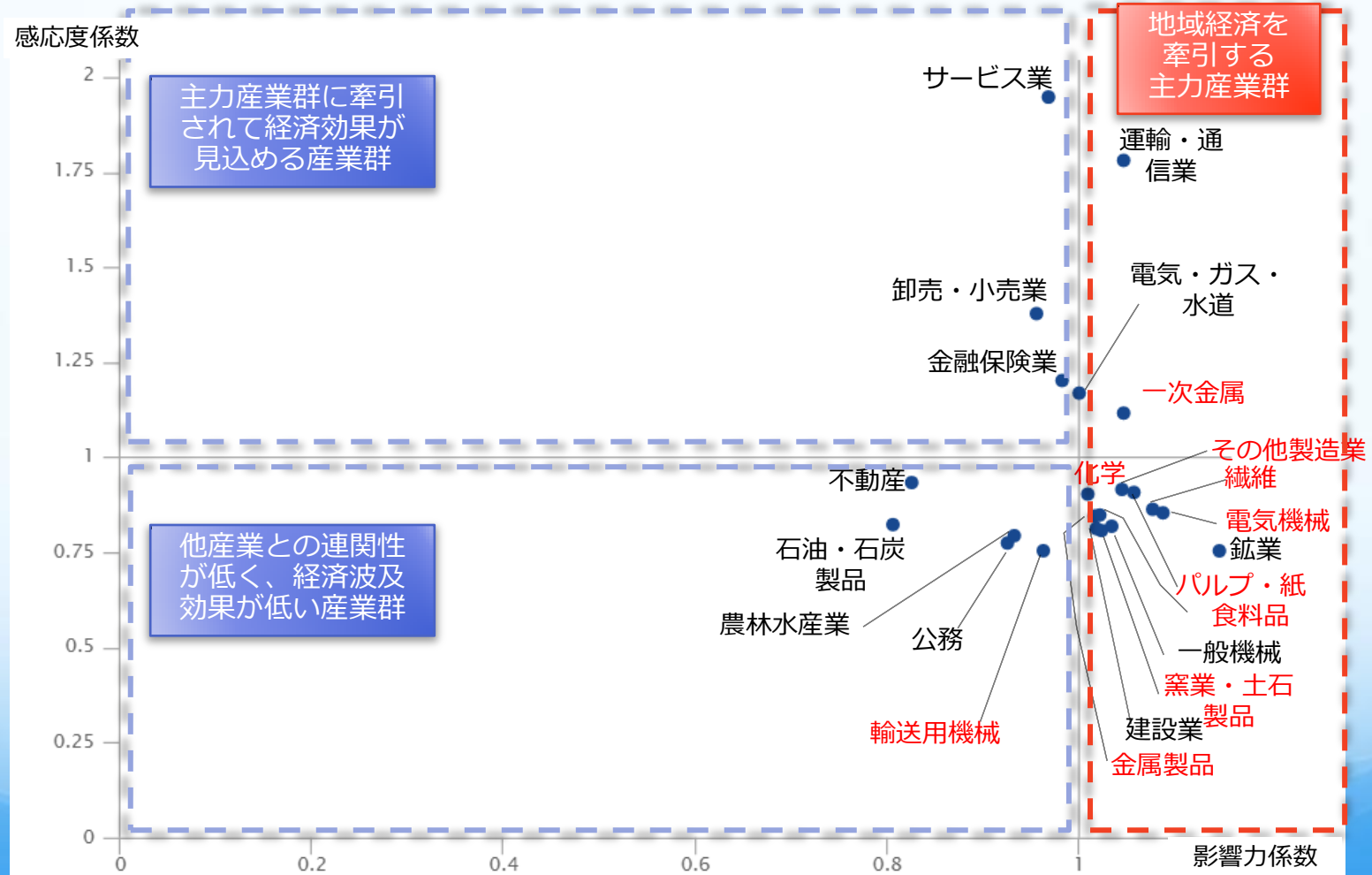
- ・ 例えば、化学工業の従業者数の特化係数は、「市区町村の化学工業の従業者数の全産業に占めるシェア」を「全国の化学工業の従業者数の全産業に占めるシェア」で割ったもの
- ・ 化学工業の従業者数の特化係数が1を上回る場合は、当該市区町村における化学工業の従業者数の全産業に占めるシェアが全国平均と比べて高いことを意味しており、1を下回る場合は、当該市区町村における化学工業の従業者数の全産業に占めるシェアが全国平均と比べて低いことを意味している
- ・ 付加価値額の特化係数、労働生産性の特化係数の値を見る際の一つの参考となる

3. 柏市において新たな需要創出により市内経済への波及が高い産業

7

- ・ 柏市の産業について、新たな需要創出が市内の全産業に与える影響が高い産業についてみると、多くの製造業が影響力係数 1 以上の「地域経済を牽引する主力産業群」に分布している

[柏市産業別の影響力・感応度の分析 (H22)]



[参考]

■ 地域経済を牽引する主力産業群

- ・ 影響力係数が 1 以上の産業を位置付けている
- ・ 影響力係数は、その産業への新たな需要創出が市内の産業に与える影響が相対的に高い産業は 1 以上、低い産業は 1 以下となり、具体的には市内で原材料を調達している度合いが大きい場合などに高い値となる

■ 主力産業群に牽引されて経済効果が見込める産業群

- ・ 影響力係数は 1 以下であるものの、感応度係数が 1 以上の産業を位置付けている
- ・ 感応度係数は、市内におけるある産業での需要創出による影響を相対的に受けやすい産業は 1 以上、低い産業は 1 以下となり、具体的には市内の事業所への販売が多いなど、市内他産業の売れ行きによる影響を受けやすい場合などに高い値となる

■ 他産業との関連性が低く、経済波及効果が低い産業群

- ・ 影響力係数、感応度係数ともに 1 以下と、市内事業所との取引が相対的に少ない産業を位置付けている